

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立桐ヶ丘高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 総務部主任＝事務局長、副校長2名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（2名）、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任、保健部主任、教育相談部主任、総務部主任、1年次主任、2年次主任、3年次主任、4年次主任 計14名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授等2名)、保護者代表、区教育委員会、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣自治会代表、区教育相談センター係長、近隣児童館館長、特別養護老人ホーム施設長、区地域振興室長 計11名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催について
 - 第1回 令和6年6月20日（木）、内部委員8名、協議委員8名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
資料による前年度の教育活動の報告と今年度の重点課題及び業務についての説明。
意見交換、今後の予定。
 - 第2回 令和6年10月17日（木）、内部委員8名、協議委員8名
資料による今年度の教育活動の報告、説明。
意見交換、今後の予定。
 - 第3回 令和7年1月16日（木）、内部委員6名、協議委員9名
資料による学校評価アンケートの集計結果の報告及び分析の説明。
意見交換、次年度に向けた方向性の確認。
- (2) 評価委員会の開催について
 - 第1回 令和6年10月17日（木）、内部委員6名、協議委員8名
学校評価の基本方針の確認、前年度の学校評価結果の分析。
今年度の学校評価アンケート原案の検討。
 - 第2回 令和7年1月16日（木）、内部委員8名、協議委員6名
資料によるアンケート集計結果の分析・考察、課題の整理。

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・11月 全校生徒 対象：572人 回収：169人 回収率： 30%
 - ・11月 保護者全員 対象：572人 回収：103人 回収率： 18%
 - ・11月 地域・住民 対象： 8地区 回収： 3地区（20人） 回収率： 38%
 - ・11月 教職員 対象： 57人 回収： 57人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
 - ・生徒 ①学校の仕組みや教育活動 ②学校生活 ③学校生活充実
 - ・保護者 ①学校の仕組みや教育活動 ②学校生活
 - ・教職員 ①学校運営 ②学校生活 ③生活指導 ④進路指導 ⑤教育相談 ⑥健康・安全
⑦特別活動 ⑧保護者・地域との連携、開かれた学校づくり
⑧ライフ・ワークバランスの推進

(4) 調査の方法及び集計方法

生徒については、QRコード、Teamsで呼びかけた。保護者については、紙面配布するとともに、保護者会の機会を使い、待ち時間等にQRコードから入力と呼び掛けた。地域社会については、QRコード又は紙面に記入を依頼した。

集計については、そう思う（はい）を4、だいたいそう思う（だいたいあてはまる）を3、あまり

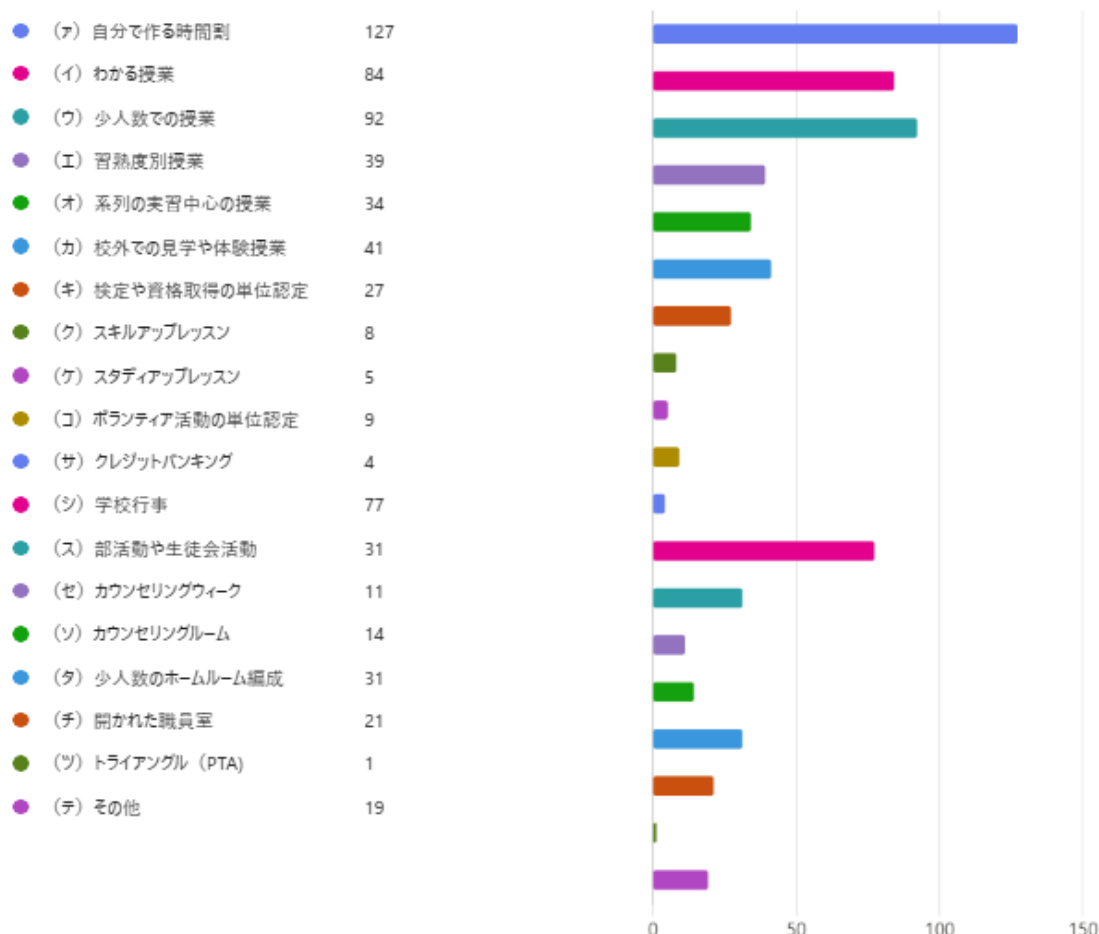
思わない（あまりあてはまらない）を2、思わない（いいえ）を1とし、数値化することにより集計した。数値の最大値は4、最小値は1、中間値は2.5となる。

（5）評価結果の概要・分析・考察

- ・生徒アンケート数は、昨年度の40%から10%減らした。また、保護者アンケートはほぼ変わらない数値であった。地域・住民アンケートでは、8地区に配布し、3地区の回答に留まった。
- ・生徒の約83%が本校に入学して良かったと思っている。
- ・生徒は基礎基本の身に付く授業、「情報・ビジネス系列」「アート・デザイン系列」「福祉・教養系列」の授業、学校の仕組み、授業評価や教育活動について約80%以上の肯定的な評価をしている。全体的に昨年度とほぼ変わらない評価であった。
- ・昨年度に続き、「桐ヶ丘授業中のマナー8箇条」についての設問を行ったが（この設問のみ5段階評価）、80%と非常に生徒の自己評価も高かった。生徒登校状況を見ると、登校している生徒は高評価をしていると考えられる。
- ・生徒の学校生活を充実させ、楽しくしている要因の上位が、自分で作る時間割、少人数での授業、わかる授業、部活動や生徒会活動となっており、これらが生徒にとっての本校の魅力となっていると考える。
- ・保護者の約88%は、桐ヶ丘高校の学則は学校生活をよりよく送るために大切だと評価している。また、90%以上の保護者は入学させて良かったと本校の教育活動を評価している。
- ・地域社会については、昨年度同様に評価は低くなっている。コロナ禍で地域住民と一緒に活動することが減っており、本校の教育活動を見る機会がないため評価が低くなっていると考ええる。
- ・生徒コメント及び保護者コメントは、肯定的なものも多く、生徒・保護者が本校の教育活動を理解し、支持している方が多いが、一方で改善を望む声には真摯に取り組みたい。
- ・地域社会のコメントについては、コロナ禍以降のボランティア活動や地域との交流が出来なかった影響が大きく、コメントも少ないと考える。
- ・昨年度からの試みとして、MS Forms を利用したアンケートを実施しているが、生徒・保護者の回収率が低く検討が必要である。

27. 最後に、あなたの学校生活を充実させ、楽しんでいる要因を教えてください（いくつでも可）

[詳細情報](#)



4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒・保護者の「入学して良かった」「入学させて良かった」についての肯定的評価は、生徒が85% 保護者は87%であり昨年と変わらず高く、本校の教育活動が理解され支持されている。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・1年次から卒業年次までの進路希望の経年的調査を基に、進路意識を持たせ粘り強く挑戦させながらキャリア教育を更に充実させる。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒の実態をより正確に把握し、自己肯定感を育みながら個に応じた教育を更に推進するとともに、キャリア教育の充実に努める。

(2) 学習指導

- ・少人数授業を生かした指導内容・方法の改善充実、一人1台端末及び Teams や ICT 機器の活用体験的学習等で意欲を高め出席率を高める。

(3) 特別活動

- ・部活動の加入を奨励し、主体的に行動する力と他者と協力する気持ちを育成する。

(4) 生活指導

- ・桐ヶ丘マナー10カ箇条授業中のマナー8箇条を推進し、将来社会人として身に付けるべき規律規範の指導を充実させる。

(5) 進路指導

- ・早期から情報を提供し長期的展望を描かせ、学校生活・授業に主体的自立的に取り組ませる。

(6) 健康・安全

- ・生活習慣病の未然防止・伝染病の罹患防止のため、家庭・関係機関と連携して指導する。
- ・パーソナルファイルやアセスメントシートを使った個別対応により、教育相談機能を更に充実させる。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 11人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
6	2					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

無し。

8 その他

- ・昨年度から MSForms を活用して学校評価アンケートを実施している。保護者向けアンケートの回収率は低い水準が続いている。より回収率を高くする工夫が必要である。

学校評価アンケート（生徒用）

	設問内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1	桐ヶ丘高校では、国語、数学、英語の習熟度別授業をはじめとして、基礎・基本が身につく授業が行われていると思う。	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4
2	「福祉・教養系列」の授業は充実していると思う。	3.2	3.2	3.1	3.2	3.3
3	「情報・ビジネス系列」の授業は充実していると思う。	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4
4	「アート・デザイン系列」の授業は充実していると思う。	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3
5	桐ヶ丘高校では、自分自身の興味・関心や進路希望(将来の職業や進学)にあわせて、学習したい科目を選択して勉強ができると思う。	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
6	桐ヶ丘高校では、テストの得点だけでなく、授業中の努力や取り組む姿勢なども含めて、いろいろな角度から評価が行われていると思う。	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3
7	桐ヶ丘高校の学則は、より良く学校生活を送るために大切であると思う。	－	3.3	3.3	3.3	3.3
8	桐ヶ丘高校での学校生活に熱意と意欲をもって取り組んでいる。	2.7	3.0	3.1	3.1	3.2
9	自身の進路や生き方について考えている。	2.9	3.0	3.1	3.1	3.1
10	小・中学校の時と比べて、国語や数学や英語などの学習の内容がよく分かるようになった。	2.9	3.1	3.1	3.2	3.2
11	小・中学校の時と比べて、楽しく授業に参加できている。	2.9	3.1	3.1	3.2	3.1
12	文書実務検定や漢字検定、介護職員初任者研修など資格取得や検定に積極的にチャレンジしている。	1.7	2.2	2.2	2.4	2.2
13	学校外学修(ボランティア活動やスキルアップ)に積極的に参加している。	1.5	2.0	2.3	2.3	2.2
14	「桐ヶ丘マナー10箇条」を心がけた学校生活を送っている。	2.8	2.9	3.1	3.3	3.2
15	学校からの配布物は、保護者コミュニケーションツールを活用して保護者に周知をしていることを知っている。	－	－	－	－	3.1
16	校外学習や修学旅行、ボランティアなどの体験学習は休まずに参加できた。	－	2.9	2.9	3.1	3.1
17	ポロニアフェスティバルは準備の段階から積極的に参加できた。	－	3.0	3.1	3.3	3.2
18	桐ヶ丘高校授業中のマナー8箇条を心掛けた学校生活を送っている。	－	－	－	4.1	4.0
19	桐ヶ丘高校に入学してよかったと思う。	3.2	3.2	3.4	3.4	3.3

※評価は最大評価4、最小評価1

生徒コメント

【学校の良い点】

- ・友達をたくさん作れた。
- ・コミュニケーション能力が付いていると思う。
- ・1番は素晴らしい友人達と出会いました。
- ・授業に関する豆知識を言ってくれる先生がいる。論理国語の先生、住生活デザインの先生など
- ・先生が優しい
- ・友人たちと過ごす時間と部活動が楽しい（複数意見）
- ・友達ができた（複数意見）

【学校の悪い点】

- ・ブレザーがうざすぎてイライラする。
- ・緩すぎる校則

学校評価アンケート（保護者用）						
	設問内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1	桐ヶ丘高校では、国語、数学、英語の習熟度別授業をはじめとして、基礎・基本が身につく授業が行われていると思う。	2.8	3.2	3.4	3.3	3.4
2	「福祉・教養系列」や「情報ビジネス系列」「アート・デザイン系列」の授業は充実していると思う。	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4
3	桐ヶ丘高校では、生徒の興味・関心や進路希望（将来の職業や進学）にあわせて、学習したい科目が選択できることを知っている。	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5
4	桐ヶ丘高校では、テストの得点だけではなく、授業中の努力や取り組む姿勢なども含めていろいろな角度から評価が行われていることを知っている。	3.2	3.6	3.6	3.5	3.5
5	桐ヶ丘高校の学則は、より良く学校生活を送るために必要であると思う。	－	－	－	－	3.5
6	学校は、トライアングル（保護者有志の会）の活動に協力し、その充実のための工夫を行っていると思う。	1.9	2.8	2.9	2.8	3.1
7	電話や来校した時の対応は良いと思う。	3.3	3.7	3.7	3.6	3.6
8	教職員は、保護者の意見を積極的に聞こうとしていると思う。	3.0	3.4	3.5	3.6	3.4
9	お子様は桐ヶ丘高校での学校生活に熱意と意欲をもって取り組んでいる。	3.0	3.3	3.3	3.2	3.5
10	お子様とお子様の将来の進路や生き方について話すことがある。	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4
11	小・中学校の時と比べて、国語や数学や英語などの基礎・基本が身に付いていると思う。	2.8	3.1	3.2	3.0	3.2
12	小・中学校の時と比べて、楽しく授業に参加できていると思う。	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4
13	お子様は、文書実務検定や漢字検定、介護職員初任者研修など、資格取得や検定に積極的にチャレンジしていると思う。	2.4	2.4	2.3	2.7	2.5
14	お子様は、学校以外の体験学習やボランティア活動にも積極的に参加している。	1.4	2.0	1.9	1.9	2.1
15	桐ヶ丘高校に入学して、基本的な生活習慣が身についていると思う。	2.8	3.1	3.0	2.9	3.1
16	学校からの配布物等で、学校の進路や学校生活の様子は、保護者に伝わっている。	2.8	3.2	3.0	2.9	3.1
17	桐ヶ丘高校に入学させて良かったと思う。	3.5	3.8	3.6	3.5	3.6
18	国や都が働き方改革に取り組んでいることを知っている。	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1
※評価は最大評価4、最小評価1						

保護者コメント

- ・配慮が必要な娘に、入学時から定期的に連絡いただき、サポートしていただけてとても助かっています。
- ・いつも真心ある先生方のご対応に、大変感謝しています。
- ・出来ればですが、授業中に居眠りする我が子を注意し起こして欲しい。
- ・娘が楽しく過ごせているのは先生方のおかげです。ありがとうございます。
- ・いつも心配な時は、相談にのって頂いています。あと、1 学年から 2 学年へ進み、学生生活を楽しんでほしいと思います。
- ・柔軟に対応してくださりありがとうございます。(多数あり)
- ・学校に行くのが毎日、楽しそうです。ありがとうございます。
- ・学習に対して、前向きに取り組んでいる姿を見ることができ、桐ヶ丘高校に入学できて本当に良かったと思います。来年度の卒業までどうぞよろしくお願いいたします。
- ・保護者が担任の先生に情報共有を行う上で電話連絡以外の手段が欲しい。
- ・メールや ICT などの利用方法
- ・学校へ電話して担任の先生以外の先生に伝言を残しても、ちゃんと担任の先生に伝わっていない事が多々あった。
- ・うちの子は、必須単位取得の漏れがあり、留年することになりました。先生、本人、保護者のいずれかが気付いていれば防げることでした。もう二度とこのような不幸がないように、再発防止に努めて欲しいです。
- ・授業を真面目に受けようと頑張っているが、他の生徒が遅刻したり騒いでいたりしても先生が全く注意しないので、真面目に受けている側からすると腑に落ちない。
- ・廊下や階段でたまっている生徒がいるが、先生方が注意しない。
- ・校長先生は熱意を伝えていたが、校内で全く見かけないので生徒と向き合っているとは思えない。

学校評価アンケート（地域社会用）

	設問内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1	学校は、回覧や掲示板、ホームページ等で教育活動について地域へ積極的に発信していることを知っている。	2.6	2.8	3.5	2.5	2.2
2	桐ヶ丘高校の校訓「夢・挑戦・感動」を知っている。	1.8	3.0	3.0	2.3	2.5
3	生徒は、楽しく充実した学校生活を送っていると思う。	2.9	3.3	3.0	3.0	2.3
4	生徒が地域において問題行動が見られたとき、学校は地域と連携して指導にあたっていると思う。	2.4	3.0	3.0	2.3	2.5
5	桐ヶ丘高校の学則は、より良く学校生活を送るためにあることを知っている。	－	－	－	－	2.5
6	公開講座の実施や授業や学校行事への地域の方々の招待、教員や生徒の地域行事への参加等、開かれた学校づくりを積極的に行っていると思う。	2.7	3.0	3.0	2.5	2.4
7	学校運営に地域や関係機関の意見や要望が取り入れられていると思う。	2.2	2.7	3.3	2.2	2.0
8	生徒は地域において社会マナーを守っていると思う。	2.5	2.5	3.2	2.9	2.6
9	国や都が働き方改革に取り組んでいることを知っている。	2.4	3.3	3.4	3.2	3.4
※評価は最大評価4、最小評価1						

地域社会コメント

- ・校舎の建替えに寄って歩道が狭くなっていることが気になります。特にバス停付近。学生が歩道を塞いでいるように思える。
- ・挨拶がちゃんとできているのか不安に思える。
- ・高校とはご縁がなく、失礼ながらほとんど何も存じあげません。

学校評価アンケート（教員用）						
	設問内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1	企画調整会議の協議事項や連絡事項は教職員に周知されていると思う。	3.0	3.2	2.8	3.3	3.1
2	学校の教育課題について、研修会等で組織的に取り組んでいる。	3.0	3.1	2.6	3.3	2.8
3	分掌や年次では、目標や重点課題の達成状況について自己評価を行っている。	2.9	3.0	2.7	3.2	3.0
4	昨年度の評価結果を踏まえた改善点が、今年度の目標や計画に反映されている。	2.5	2.9	2.7	3.1	2.8
5	校内研修のねらいや方法が明確にされ、全校で意欲的に研修に取り組んでいる。	2.6	3.1	2.6	3.2	2.8
6	教職員は、生徒や保護者の話を聞く機会を作る工夫をしていると思う。	3.4	3.6	3.3	3.7	3.4
7	教務の方針を生徒や保護者に明確に伝えている。	2.9	3.3	2.8	3.4	3.0
8	教科指導では、基礎・基本の徹底を目指して授業をしていると思う。	3.4	3.4	3.0	3.6	3.3
9	教員は授業において生徒の主体的な学びや生徒同士の学び合いの工夫をしている。	2.8	3.0	2.8	3.3	3.0
10	教員は、生徒がわかるまで根気強く指導していると思う。	3.2	3.4	3.0	3.4	3.2
11	学校は、実習や体験学習を取り入れるなど、現在及び将来の生活に役立つ授業を行っていると思う。	3.0	3.2	3.0	3.4	3.0
12	地域や関係機関と連携して、学校外でも、実習や経験・体験学習を積極的に行っていると思う。	2.5	3.0	2.7	3.2	3.1
13	学校は、資格取得に役立つ授業を積極的に行っていると思う。	3.1	3.4	3.3	3.5	3.5
14	教員は、教材や教え方を工夫し、わかりやすく楽しい授業を行っていると思う。	3.1	3.3	3.1	3.4	3.3
15	テストの得点だけではなく、授業中の努力や取り組む姿勢なども含めて多面的な評価を行っていると思う。	3.3	3.3	3.3	3.6	3.4
16	生徒指導の方針を生徒や保護者に明確に伝えている。	2.4	3.0	2.9	3.2	3.0
17	教職員が協力して基本的な生活習慣が身につくよう指導していると思う。	2.4	3.0	2.8	3.2	3.0
18	学校は、生徒本人はもとより、保護者と協力して生徒を育てようとしている。	3.0	3.3	2.9	3.5	3.1
19	学校は、生徒が抱える様々な問題を見逃さずに対応していると思う。	2.8	3.2	3.1	3.4	3.2

※評価は最大評価4、最小評価1

学校評価アンケート（教員用）						
	設問内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
20	学校で事故や問題が起きた場合などは、家庭と密接に連絡を取りながら指導や対応にあたっていると思う。	3.1	3.5	3.2	3.6	3.4
21	進路指導の方針を生徒や保護者に明確に伝えている。	2.6	3.0	2.9	3.1	2.9
22	学校は、担任や進路指導部を中心に、時間割の作成や将来の進路に関わる相談に対して十分に対応していると思う。	3.0	3.0	3.0	3.4	3.2
23	担任や進路指導部は、生徒の特性や希望を生かした適切な指導を行っている。	3.0	3.2	3.0	3.2	3.1
24	教育相談は、カウンセリングウィークやカウンセリングデイのみならず日常的に保護者と連携を深めながら行っていると思う。	3.4	3.5	3.3	3.6	3.4
25	学校は担任や教育相談部を中心に、心身の悩みに関わる相談に対して親身になって対応するなど、生徒一人ひとりを大切にしていると思う。	3.2	3.6	3.5	3.7	3.4
26	学校は、保健指導・管理に積極的に取り組んでいる。	3.0	3.2	3.2	3.3	3.2
27	生徒は、部活動・生徒会活動に積極的に参加していると思う。	2.3	2.8	2.4	2.5	2.3
28	学校は、部活動・生徒会活動の指導に熱心に取り組んでいる。	2.4	2.9	2.7	3.1	2.8
29	本校の学校のきまりに大きな問題はないと思う。	－	3.0	2.7	2.9	2.5
30	教室・特別教室・体育施設等は、よく整備されていると思う。	2.1	2.6	2.4	2.5	2.4
31	学校は、トライアングルの活動に協力し、その充実のための工夫をしていると思う。	2.1	2.5	2.4	2.7	2.5
32	教職員は、適切な電話対応を心がけていると思う。	3.1	3.4	3.4	3.5	3.3
33	学校は、保護者会、関係機関との連携などをとおして、開かれた学校づくりを進めていると思う。	2.8	3.3	3.2	3.4	3.1
34	日常の教育活動に地域社会の意見や要望が取り入れられていると思う。	2.5	2.7	2.7	2.9	2.6
35	学校は、地域社会等の活動に積極的に協力していると思う。	2.3	2.8	2.4	2.9	2.6
36	学校は、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図っていると思う。	2.0	2.5	2.4	3.0	2.5
※評価は最大評価4、最小評価1						

- ・教科指導・分掌業務・年次業務・部活指導と業務量の負担が多い人もいますので、部活指導は今後の地域移行へのことも鑑みて、全員配置ではなく希望制にし、業務量を少しでも各自で調整できる幅を持たせられるといいと思う
- ・生徒の服装指導を本校の生徒の実態にあった形にしたほうが良い。異装届必要ない。また疑問に持つ教員が多い。同じく体育の評価方法も再考したほうが良い。心身共に不調な生徒が多い中、生徒が不利になるような評価をするのは大きな課題である。生徒ができるだけ早く卒業できるよう対応していくのが、チャレンジ校として望ましい。ぜひ改善を！
- ・ここ3年、年を追うごとにチャレンジスクールのコンセプトから外れ、全日制普通科的な学校になってきている。
- ・年次や分掌の主任が一部の教科に偏っている点が気になります。教科会が第二の企画調整会議のような位置づけになった場合、学校の管理・運営上問題があるように思います。
- ・難しいことだと思いますが、本校を卒業した生徒の現状を追跡調査し、本校の教育効果を客観的に判断することができれば、学校改善に役立つと思います。また、数あるチャレンジスクールの中で、本校の入試倍率が最も低い原因を洗い出し、改善していくことが必要だと感じます。
- ・教職員の人数は少ないが生徒に対するケアは多分に必要な学校である。配置人数のルールはあると思うが問題行動等で人員が割かれきちんと学校生活を送りたい生徒への対応が後手になってしまっている。セーフティネットの学校では無く、チャレンジスクールとしての学校では無い現状だと思います。運営方針（特に生徒の募集方針）を検討してほしいです。また、教員の増加を強く要望します。
- ・様々な課題点がありますが、それらを一度集める取り組みを行えるとよいと感じます。それは長期的な取り組みになるかと存じます。もしよければ ICT の活用などができると考えております。
- ・今年度生活指導案件が多いからなのか、特に A 勤の先生が夜遅くまで残っていたりする場面が多く見受けられた。何とか改善できるといいなと思う。
- ・本校の学校システムがおかしい。全方面見直し、改定が必要。
- ・授業内でのスマホ使用に関してのルールは必要だと感じる。